

声明

国際法を無視するイランへの先制攻撃に抗議し、即時停戦を求める

＝被爆者は大切な命を奪うすべての戦争に反対する＝

2026年3月5日

日本原水爆被害者団体協議会

2026年2月28日、アメリカとイスラエルは、核開発疑惑をめぐる外交交渉中にもかかわらず、突然、イランの首都テヘランなどへの攻撃を行った。わずか数時間で最高指導者ハメネイ師をはじめ政府や軍の高官約50人を殺害、多数の軍事施設に打撃を与え、多くの子どもを含む一般市民も殺害したと報道されている。

こうした一連の攻撃は国連憲章を蹂躪し、国際法に違反することは明白だ。日本被団協は厳重に抗議し、アメリカとイスラエルに直ちに停戦し対話による解決を目指すことを強く求める。

また、イランも反撃に出ており、中東地域の緊張を高め紛争の拡大と報復の連鎖に繋がりがねない。イラン政府に一刻も早い対話の開始を要請する。

日本被団協は一貫して、核兵器の非人道性を告発し、核兵器の使用禁止と廃絶を求めてきた。国際法無視と「力による支配」を絶対に許すことはできない。

日本政府は、イランへの攻撃に対して邦人の保護は述べたが、アメリカとイスラエルに対して抗議をしていない。同盟国であっても法を無視した動きは見過ごすべきではない。アメリカとイスラエルがイランへの攻撃を直ちにやめ、「法による秩序」に基づく「対話」による外交をすすめるよう要請することを強く求める。

以上

[日本被団協]東京都港区芝大門 1-3-5 ゲイブルビル 902
電話 03-3438-1897 FAX03-3431-2113